

事例2 ティーム・ティーチングにおけるリーディング指導

—Top-down reading を中心に—

1. 単元・授業改善の視点

(1) 授業改善の視点

中学校におけるteam-teachingの授業では、「聞くこと」・「話すこと」に焦点をあてた言語活動が多くなされている。また近年「書くこと」に関しても上記の2技能と関連させて言語活動を実施するようになってきた。しかし、まだ次のような疑問点が残されている。

○ 「読むこと」の活動をteam-teachingの授業でもっと取り入れ、4技能にわたる総合的な言語活動を行うことができないか。

○ solo-teachingでできることをわざわざteam-teachingで行ってはいないか。ALTの特徴を十分に生かし、team-teachingでしかできない授業は工夫できないか。

これらの問題点を解決することを主な目標として、team-teachingの授業改善に取り組んだ。指導計画を立案するにあたり、具体的には次の3点に留意した。

① 他の3技能との関連を図りながら「読むこと」の言語活動に焦点をあてたteam-teachingの授業を実施する。

② 「読むこと」の言語活動は、まとまりのある文章の概要や要点を読み取ることを目標としてTop-down方式を取り入れる。Pre-reading, In-reading, Post-readingの順に指導過程を組み、内容理解を深める。

③ team-teachingの特徴を生かす。

ア 投げ込み教材として、ALT自身が文化比較を視点とした教材を作成する。生徒が一文ずつ日本語に直さず、英文として読み進めるようにその分量を多めにする。

イ Pre-reading, In-reading, Post-readingの各段階でALTを関与させる。例えばPost-readingの段階ではALTとJTLの対話により生徒の興味・関心を喚起し動機づけとする。

(2) 単元名

“Do You Like Baseball?” (ALT自作教材)

この教材は、日本で現在話題になっている野球、その中でも大リーグを取り上げている。本校のALTはカナダ出身なので、特にカナダにある大リーグのチームについて言及している。さらに生徒が身近に感じられるように、中学生が野球について話しているという場面を設定した。

(3) 指導目標(各段階における目標は指導計画を参照)

① アメリカ大リーグ、その中のカナダのチームについて理解する。

② Top-down方式の「読むこと」の活動において、英文の概要や要点を読み取る練習を行う。

③ 文章の主題に関して、自分の考えを英語で表現できる。

(4) 評価規準(各段階における評価規準は指導計画を参照)

① アメリカ大リーグ、その中のカナダのチームについて理解できたか。

② Top-down方式の活動において、英文の概要や要点を読み取ることができたか。

③ 文章の主題に関して自分なりの考えを表現できたか。

2 単元の指導計画（全2時間）

観 点	活 動 の 目 標	活 動 内 容	評 価 規 準	時 数
関 心 意 欲 態 度	・ 内容について予想を立て、読もうとする意欲をもつことができる。	・ Pre-reading ・ ALTとJTLの対話を聞き、ALTの質問に答える。	・ ALTの質問に対する生徒の答えや反応から読もうとする意欲を持ったかを評価する。	1 (本時)
理解の 能力	・ 文章の概要が把握できる。	・ In-reading(1) ・ skimming-----6枚の絵から関係のない1枚を除き正しい順序に並べかえる。	・ 並べられた絵と生徒の意見から概要を把握できたかを評価する。	
	・ 文章の概要が把握できる。	・ In-reading(2) ・ scanning-----Yes-No questions, T-F test, Wh questions と3段階に分けた設問に答える。	・ 設問に対する答えから要点が把握できたか評価する。	
表現の 能力	・ 文章の内容を踏まえ、自分なりの考えが書ける。	・ Post-reading ・ 野球が好きか嫌いとその理由を書く。 ・ カナダのスポーツについてALTに尋ねたいこと、日本のスポーツについてALTに教えたいことなどを書く。	・ 野球が好きか嫌いかを考え、その理由を自分なりに表現できたか評価する。 ・ カナダと日本のスポーツについて考え、自分なりに質問や説明を表現できたか評価する。	1 (次時)

3 教材 “ Do You Like Baseball ? ” (ALT作成、一部省略)

Mrs. Jones: Class, today we have a new student from Japan. His name is Kenji Goto. Everyone, please welcome him to our class. Jake, will you show Kenji around later ?

Jake: Sure, Mrs. Jones.

Mrs. Jones: Kenji, please sit next to Kenji. Later, he will show you around. Alright, class, let's start our lesson. Take out your textbook and turn to page 35.

----- the bell rings -----

Jake: Great! Recess time. Come on Kenji, let's go outside and play.

Kenji: Recess? What is recess?

Jake: Recess is free time. We have 15 minutes to go to the bathroom or go outside and play. Come on, it'll be fun.

Kenji: What are you going to do?

Jake: I usually play baseball. Can you play baseball?

Kenji: Of course. In fact I like baseball very much. I was in the baseball club in my school in Japan. I also try to watch as many baseball games as I can. I think the Yakult Swallows is the best team.

Jake: The who?

Kenji: The Yakult Swallows. They are the best team in Japan. Do you have many baseball teams in Canada?

Jake: No. We only have 2 teams in Canada. All the other teams are American. In October we have the playoffs for the World Series. Whoever wins is the World Series Champions. Last year the Toronto Blue Jays, a Canadian team, won it. Everyone was very surprised.

Kenji: Oh, interesting.

----- the bell rings -----

Jake: Oops! Recess is over. We have to go back to class. We can play baseball later. Come on, we can't be late or Mrs. Jones will be angry with us.

Kenji: OK.

<参考: alright は現在では一般的に用いられている (all right) >

4 授業の実際 (概要と分析)

(1) Pre-reading の活動

ALTとJTLが互いの好きなスポーツについて会話をし、その後ALTが生徒にどんなスポーツが好きかを尋ねた。「今日の話題は何か」の問いに対して「スポーツ」という答えは得られたが、「野球」という答えはでなかった。これは会話の中で野球を取り上げなかったからであろう。

この会話について授業後に行ったアンケート結果は次のとおりである。

[質問] 最初の先生たちの会話は、今日の読み物に関係したものでした。興味を持って聞きましたか。	①興味を持って聞いた	-----11人(28.9%)
	②まあまあだった	-----24人(63.2%)
	③興味を持たなかった	-----3人(7.9%)

[感想] *面白かった。ALTがホッケーを好きとは知らなかった。

*分からないところがあった。

*プリントで読んだ野球とは関係がない。

これまで team-teachingの授業では、文化に関する話題についてALTの単独説明あるいはALTとJTLの会話の形での聞き取りを行っている。生徒はこのような提示の仕方に慣れているため、今回のPre-readingでの会話も、生徒にとって理解は容易なものとなった。

(2) 新出語句の導入

類推できる語句を除いて、絵や図表などを用いて導入し語句の理解を図った。具体的にはskimmingに必要な語句とscanningに必要な語句に分け、それぞれの活動に入る前に提示し導入した。理解したかどうかワークシートに○×を記入させ確認した。



<新出語句の理解の程度>

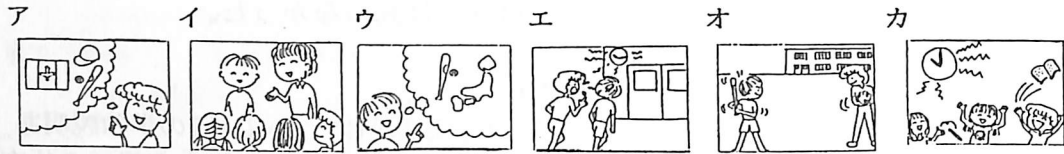
skimming	理解した	scanning	理解した
Mrs. Jones	38名(100%)	outside	37(97.4%)
Jake	38名(100%)	bathroom	27(71.1%)
recess	34名(89.5%)	best	33(86.8%)
the Yakult Swallows	36名(94.7%)	playoff	18(47.4%)
		series	29(76.3%)
the Toronto Blue Jays	36名(94.7%)	champion	38(100%)
		won	14(36.8%)
		over	32(84.2%)

(3) 2種類の学習ワークシート

scanningとPost-readingの活動で使用した学習ワークシートは、設問等全てが英語で書かれたシートと日本語で書かれたシートの2種類を用意し、生徒が自主選択できるようにした。今回英語シートを選択した生徒は13名(34.2%)、日本語シートを選択した生徒は25名(65.8%)であった。しかし、日本語シートでも生徒は答えなどを英語で書いてよいことになっている。今回も日本語シートを選択した25名のうち、約半数の13名が質問に対して英語で答えている。このように、自主選択できる幅を広げた学習ワークシートは、生徒が自分なりに考え個に応じて表現や理解の活動を進めるのに役立つであろう。

(4) skimmingの活動

6枚の絵をJTLが作成し、4名ずつのグループに1組ずつ配布し各グループで協力して並べかえるよう指示した。ALTとJTLは各グループを回って支援した。



(正しい順序はイ→カ→ウ→ア→エ、本文と無関係のものはオ)

この活動では、文の並べかえを行うことが多いが、今回は絵を使用した。英文の量が多く、本文の概要を理解することに困難を感じる生徒が多いことが予想されたからである。生徒は下記のような方法で活動を進めた。

- ① 6枚の絵をグループの4名で適当に分けて、それが何番目の絵なのか各自で考えた。
- ② 全員がまず全文を読み通し、その後話し合いながら並べかえた。
- ③ 読む活動と話し合いながら並べる活動を同時に行った。
- ④ 英語の読解がやや得意と思われる生徒が読みながら順序を指示し、その他の生徒が意見を交えながら並べかえた。



また、関係ない絵を選ぶ手順は次の2通りとなった。まず関係のない絵を選んで残りの5枚を並べかえるというもの、並べかえる作業の過程で関係ない絵を選ぶというものである。

(5) scanningの活動

① 使用した学習ワークシートと解答例

<p style="text-align: center;"><i>Do You Like Baseball?</i></p> <p style="text-align: center;">Name: _____</p> <p style="text-align: center;">(Yes) (No) Write <input type="radio"/> or <input type="radio"/>.</p> <p>*Do you understand the words? Write <input type="radio"/> or <input type="radio"/>.</p> <p>1. Mrs. Jones (<input type="radio"/>), Jake (<input type="radio"/>) recess (<input type="radio"/>) the Yakult Swallows (<input type="radio"/>) the Toronto Blue Jays (<input type="radio"/>)</p> <p>2. outside (<input type="radio"/>) bathroom (<input type="radio"/>) best (<input type="radio"/>) playoff (<input type="radio"/>) series (<input checked="" type="radio"/>) champion (<input type="radio"/>) won (<input checked="" type="radio"/>) over (<input checked="" type="radio"/>)</p> <p>Questions</p> <p>①. Does Kenji like baseball? Yes, he does. 1697日</p> <p>②. Are there many baseball teams in Canada? No, there aren't. 2497日</p> <p>③. Did Kenji and Jake play baseball in this recess. time? No, they didn't. 3397日</p> <p>T or F</p> <p>①. Kenji played baseball in Japan. <input type="radio"/> / <input type="radio"/></p> <p>②. The Yakult Swallows is a good team, Kenji thinks. <input type="radio"/> / <input type="radio"/></p> <p>③. There are only two baseball teams in the United States. <input type="radio"/> / <input type="radio"/></p> <p>④. The world Series is in winter. <input type="radio"/> / <input type="radio"/></p> <p>⑤. Last year the Yakult Swallows was the World Series Champion. <input type="radio"/> / <input type="radio"/></p>	<p style="text-align: center;"><i>Do You Like Baseball?</i></p> <p style="text-align: center;">Name: _____</p> <p style="text-align: center;">*次の固句がわかりましたか。わかったものに○、わからないものに×を記入しなさい。</p> <p>1. Mrs. Jones (<input type="radio"/>) Jake (<input type="radio"/>) recess (<input type="radio"/>) the Yakult Swallows (<input type="radio"/>) the Toronto Blue Jays (<input type="radio"/>)</p> <p>2. outsted (<input type="radio"/>) bathroom (<input type="radio"/>) best (<input type="radio"/>) playoff (<input type="radio"/>) series (<input type="radio"/>) champion (<input type="radio"/>) won (<input type="radio"/>) over (<input type="radio"/>)</p> <p>解答例</p> <p>1. ケンジは野球が好きですか。 好きです。 Yes, he does.</p> <p>2. カナダにはたくさんのおおむねチームがありますか。 ありません。 No, there aren't</p> <p>3. ケンジとジャックはこの休み時間に野球をしましたか。 してません。 No, they didn't.</p> <p>T or F</p> <p>4. ケンジは日本で野球をしていました。 <input type="radio"/> / <input type="radio"/></p> <p>5. ヤクルトスワローズはいいチームだとケンジは思っています。 <input checked="" type="radio"/> / <input type="radio"/></p> <p>6. アメリカには2つしか野球チームがありません。 <input type="radio"/> / <input checked="" type="radio"/></p> <p>7. ワールドシリーズは冬にあります。 <input type="radio"/> / <input checked="" type="radio"/></p> <p>8. 去年ヤクルトスワローズはワールドシリーズでチャンピオンになりました。 <input type="radio"/> / <input checked="" type="radio"/></p>
---	--

② Yes-No questions

〈正答率〉 (無答なし)

番号	質問	正答率
1	ケンジは野球が好きか。	100%
2	カナダには野球チームがたくさんあるか。	94.7%
3	ケンジとジェイクはこの休憩時間に野球をしたか。	65.8%

正答としては次のようなものがあつた。

1 Yes, he does. / Yes. / 大好き。 / はい。 / 好き。

2 No, there aren't. / No. / There are two teams. / いいえ。 / 2つしかない

3 No, they didn't. / No. / いいえ。 / していない。

Yes か No のどちらかで答える質問であるが上記の正答例のように内容が合っていれば正解とした。これは、現実のコミュニケーションではこのような問答が多く見られるからである。また、この3つの質問は易から難への順で構成してある。

1は文章中に答えがそのまま記載されている質問、2は文そのものの表現は少し変えてあるが容易に答えを読み取れる質問、3は文章にそのままの答えが記載されていない質問である。正答率も3の質問が一番低い。生徒には、答えの根拠となった文に下線を引くよう指示した。前述の解答例のように、～行目とワークシートに記入した生徒も見られた。

③ T-F test

〈正答率〉 (無答なし)

番号	質問	正答率
4	ケンジは日本で野球をしていた。	100%
5	ヤクルトはいいチームだとケンジは思っている。	100%
6	アメリカには2つしか野球チームがない。	100%
7	ワールドシリーズは冬にある	84.2%
8	去年ヤクルトはワールドシリーズチャンピオンになった。	81.6%

この5つの項目も、易から難への順で構成してある。ただ、生徒の野球に対するもともとの興味・関心あるいは予備知識にかなり個人差があり、よく知っている生徒は6～8の項目については本文を読まなくても解答することができた。反対に、野球のことをあまりよく知らない生徒に、本文を読んだ後でも7と8で誤答を出しているものが多い。

④ Wh-questions

〈正答率〉 (無答なし)

番号	質問	正答率
9	ジェイクの(担任の)先生は誰ですか。	100%
10	ジェイクはたいてい休憩時間に何をしますか。	92.1%
11	ジェイクとケンジはどのチームについて話していますか。	84.2%

Yes-No questionsと同様に、一問一答ではなく、一問多答の形をとっている。また内容が合っていれば、文法的に誤りがあっても中間答として正解としている。従って中間答を含めた正答例は次のとおりである。

- 9 ジョーンズ先生。ジョーンズ夫人。 She is Mrs. Jones. Jones.
 10 野球。 It's baseball. トイレに行ったり外で遊んだりする。(本文より)
 11 ヤクルトスワローズ。トロントブルージェイズ。(どちらか片方があれば可)
 カナダの野球チーム。

このように、一問多答の形をとったり中間答を採用したりすると、生徒は間違いを恐れないで自分の考えを積極的に表現するようになるのではないか。これが、最終的には「積極的にコミュニケーションを図る態度の育成」につながると思われる。

(6) Post-readingの活動

① 生徒に対して「野球が好きか嫌いか、またその理由も述べよ。」という発問をし、英語と日本語のどちらでも書いてよいと指示した。

生徒の 作品例 (日本語)	野球は好きです。よくテレビで放送があるので 見たいドラマが遅くはなってしまうから。見ていると ルールもよくわかる。
生徒の 作品例 (英語)	I like baseball. I like sports. I am in the baseball club. I play baseball every day. I like Giants!!!

② カナダのスポーツについてALTに尋ねたいこと、日本のスポーツについてALTに教えたことを書かせた。これも、英語と日本語のどちらでもよいと指示した。この活動はかなりの時間を必要とした。これは、生徒はカナダのスポーツについてほとんど知らないこと、またALTがどれだけ日本のスポーツについて知っているかを生徒はほとんど知らないことが理由として挙げられる。

生徒の 作品例 (日本語)	<ul style="list-style-type: none"> • カナダのスポーツもやっている人で、わたしたちも知っている ところを多くはいます。 • 日本で有名な人はスキートのオリンピックで優勝した おぎ原さんとか、柔道のやねらちゃんです。相撲も たいまの名人のおしほりやあすほのがあります。
生徒の 作品例 (英語)	What sports do you play in winter in Canada? I play Kendo. Kendo is a Japanese 伝統 sport. I use Men, Kote, Do as 技 with Shinai. Would you like to play Kendo?

5 考察と今後の課題

この実践研究に参加して2年間、他の3技能との関連を図りながら「読むこと」に焦点を当てた指導を進めてきた。その結果は、成果もあつたが今後の課題の方がより多いと考えている。

まず、野球に関する生徒の予備知識を事前に調査しておかなかつたため、生徒の動機づけに大きな差が生じてしまった。生徒の実態をもっと正確に把握することが第一であると痛感している。

次に、ALTとJTLの役割分担をより明確にする必要があると感じた。例えば、指導案で「生徒を支援する」という場面を設定した場合、2人でどの生徒の、何を、どう支援するのか。今回の授業ではALTは英語シートを選択した生徒を支援し、JTLは日本語シートを選択した生徒を支援するという大まかな取決めしかしていなかつたため、JTLがクラスの3分の2を受け持つことになってしまった。40人の生徒は一人一人違った考えを持ち、違った理解の仕方をし、違った表現の仕方をする。team-teachingで個に応じたきめ細かな指導や評価をするためにはこの役割分担は絶対必要である。

また、発問の次に行う指示の内容と順序についても細かな気配りが必要である。例えば今回のskimmingの活動で、「本文を読め」「6枚の絵を並べかえよ」「関係のない1枚の絵を除け」の指示をいつ、どのような形で行うかによって、生徒の活動内容はまったく異なってくる。生徒の読解レベル、文章の量と難易度、skimmingの活動内容を教師の側で把握した上で指示の構成を準備しなければならない。今回は、全ての指示を同時に行ったために、各グループは様々な方法を用いた。生徒は個に応じた方法を工夫したとも言える。しかし読解に困難を感じる生徒は活動の進め方が分からず、容易に読み進めた生徒の指示に従って並べただけになったものもあつた。全ての生徒がそれぞれのレベルに応じて読み進めていけるようにするためには、様々な読解の方法の提示と細かく構成した指示は不可欠である。

さらに生徒の選択肢を幅広いものにすることが重要である。Post-readingにおいて「野球は好きでも嫌いでもない。」という中間派が多数いた。しかし、質問は二者択一の形になっており、どちらかにしなければならぬと悩んだ生徒が多かつた。これは生徒の選択肢をせばめてしまった教師の側の失敗である。

試行錯誤の2年間であり、この実践は最初のステップにすぎない。今回の実践では「聞くこと」「話すこと」の活動が少なかつた。今後は読まれる文章を聞く活動、答えを英語で発表する活動、さらに「音読」の指導の位置付け等を含めて、総合的な言語活動を目指した実践を進めていきたいと考えている。

(新井市立新井中学校教諭 佐藤 彰子)